

今年もやっています！「ウニの蓄養」

今年に入り、ウニの蓄養も2回目になりました。3月中旬から蓄養を始め、現在は定期的に餌やりと経過観察を行っています。昨年と比べると、えさの食いつきが悪く、中身を確認すると身が少ない印象でした。

ウニの餌は、環境に配慮して地元産のワカメのくずやブロッコリーの葉を使用しています。ワカメ・ブロッコリーの葉・両方を合わせての3種類に分けて実施しています。昨年と同様に、ワカメよりもブロッコリーの葉をよく食べていました。

4月18日頃から、海水温も17℃に上昇しウニが育ちやすい条件下になってきています。今後、少しずつ餌を食べる量が増え身入りが増えることで、ウニの販売・加工に展開できることに期待したいです。

餌を食べた後の様子



身入り状況

